

# 御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

# 定例会 ニュース

(2021年3月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて動きかける団体です。

vol. 58

## 1. 大阪市立大学 研究発表

▼3班からミナミ御堂筋に関する研究結果が発表されました。

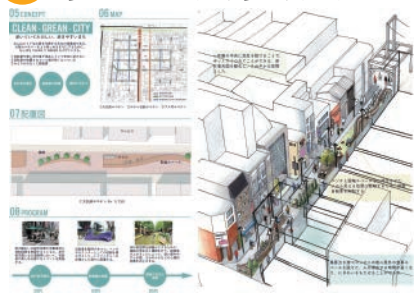
A班

周辺への誘導装置としての御堂筋未来提案



B班

CLEAN - GREEN - CITY  
歩いていてたのしい、歩きやすいまち



C班

通行機能がメインとなっている御堂筋に「遊び・休憩」する新機能を生み出す



大阪市立大学 都市計画ゼミ・建築ゼミの特別演習（講師：事務局 アルバック中塚）で取り組まれた、御堂筋をフィールドにした研究について、研究結果を発表していただきました。

## 2. 会議等の報告

### ミナミ御堂筋の会 第2回 部会 (3/10)

- ・次なる会の方向性を定める部会のリーダーは、投票により藤本氏が選出された。[部会メンバーは前回ニュース (vol.57) に掲載]
- ・今回は、将来ビジョン、事業のアイデア、ロードマップ等について議論。また、今後あるべきメインストリート像については、景観・ウォカブル・エリアバリュー・カルチャーの4つの視点から分析。

### 回遊性創出研究会 第2回 研究会 (3/16)

- ・ミナミアリアの「面での回遊性創出」に向け、課題を共有し、データ等を活用した回遊性の評価・分析、回遊性構築のあり方、回遊性実現のための具体策を検討する研究会。[第1回は昨年10月開催]
- ・第2回研究会では、社会実験「御堂筋チャレンジ2020」の結果と検証内容を報告し、意見交換を行った。
- ・次年度に向けては、「御堂筋チャレンジ2020」の成果内容を踏まえて、歩行者利便増進道路（ほこみち）の特例区域における沿道の適正化・維持管理活動と、滞在空間の創出や歩車分離を实践し、特例区域の望ましい利活用のあり方を検証、将来にわたって継続していく仕組みを構築する社会実験「御堂筋チャレンジ2021(仮)」や、大学での研究等との連携、取組みの継続について提案した。
- ・他に、大阪・道頓堀魅力発信事業実行委員会の発足と、自販機を通じたデータ取得の取組みを紹介し、今後もデータ等の情報を共有しながら、ミナミアリアで連携を図っていくことを確認した。

### 御堂筋チャレンジ2021(仮) 企画案 概要

- 実施時期 2021年10月頃の1ヶ月程度を予定
- 実施場所 御堂筋・道頓堀1丁目(道頓堀川)～難波5丁目(難波西口交差点)の沿道 約450m
- 実施主体 ミナミ御堂筋の会 (大阪市指定・道路協力団体) / 大阪市建設局



▲ 社会実験「御堂筋チャレンジ2021(仮)」企画案

### 御堂筋沿道協議会 [千日前通以南モデル区間整備協議会、道頓堀橋南詰～千日前通区間整備協議会 合同開催] (3/19)

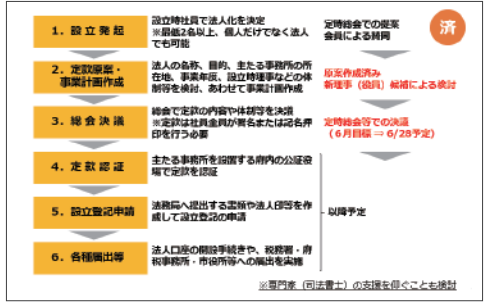
- ・大阪市建設局より御堂筋の道路空間再編について説明があった。
  - モデル整備区間リニューアル・・・歩車分離の明確化は3月末、歩道照明の改修・立水栓整備は5月末完成予定
  - 道頓堀川～千日前通区間 東側 工事・・・道頓堀橋・道頓堀橋以南の沿道側は3月末、道頓堀橋以南の側道・本線側は夏頃完成予定
  - 道頓堀川～千日前通区間 西側 工事・・・東側の側道歩行者空間化工事完了後、西側でも工事開始予定
  - 御堂筋・千日前通の交通影響調査概要、荷捌き運用・・・荷捌きスペースの運用方法の検討を行うため調査を実施予定 [停車需要実態、交通量]
- ・警察詰所撤去の要望は、3月8日に南警察署と協議を実施し、「南署としても撤去を前向きに検討したい」と回答を得たことを報告。詰所だけの撤去では不十分のため、隣接する地下鉄出入口について、大阪メトロに対し撤去を要望していく。
- ・その他、社会実験「御堂筋チャレンジ2020」の報告と次年度の利活用、第2回回遊性創出研究会について事務局より報告。

### 御堂筋協議会 (3/23)

- ・昨年2/3に設立された御堂筋協議会は、御堂筋のエリマネ団体や地元団体等で構成し、御堂筋について協議・推進する組織として活動。
- ・3/23の協議会では、2020年度の活動を振り返った上で、財源確保や手続き簡素化等のエリマネ団体が抱える課題や、シェアサイクル、デジタルサイネージといった市全体の施策にも大きく関わる取組みについて、2025年の万博を見据えながら議論が行われた。

### 3. 一般社団法人化について

当会の一般社団法人化は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、2020年度としていた予定を、2021年度に変更しました。6月開催予定の定時総会での決議を目標にしています。法人化に向けて、役員体制、会費、テナント会員の位置付け等について、引き続き議論を重ねていく予定です。



### 4. 今年度会計、来年度の補助金活用について

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でイルミネーション事業への協賛が集まりづらい状況だったことから、収入面は厳しい結果となりました。そのため、支出のうち、事務局経費を減額せざるを得ない状況となり、開催回数が減少した定例会の項目等で調整しています。社会実験「御堂筋チャレンジ2020」は赤字ではあったものの、ほぼ予算通りの結果となりました。なお、正式な会計報告は、総会で行います。

2021年度事業では、国の補助(まちなかウォークアブル推進事業)が採択され、事業費の半額が補助されますので、社会実験でこの補助を活用することを検討しています。

### 5. その他協議・報告事項

#### (1)大日本印刷株式会社様 ご入会

大日本印刷株式会社様が4月1日より賛助会員としてご入会されます。

#### (2)西尾レントオール 商品発表会について

3月17~19日、西尾レントオール様によるLQCアプローチ商品の発表会が開催され、事務局が見学しました。道路空間の利活用にも参考になる、大変チャレンジングで興味深い商品が多数展示されていました。



▲発表会会場イメージ：西尾レントオール(株)様サイトより

#### (3)電動キックボード(Luup)について

世界中で普及が進む電動キックボードは、アメリカで市場に登場してから約2年でシェアサイクルの2倍利用されるなど、各国の市場は急拡大しています。法区分を比較すると、G20各国が自転車と同様としている一方で、日本では原付と同じ法区分となっており、普及を阻む要因となっています。今後、日本でも規制緩和され、急速な普及が見込まれることから、日本の電動キックボード市場を開拓している株式会社Luup様に事務局が話を伺いました。今回の定例会では、電動キックボードに関する世界の動向、日本での動向、大阪での展開等について事務局より情報を提供しました。



▲電動キックボード公道走行による実証実験※の様子 (株)Luup様サイトより

※千代田区・東京都・大丸有協議会で構成される大丸有スマートシティ推進コンソーシアムにて国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」に応募し、先行モデルプロジェクトとして令和2年度の支援対象に選定されて実施したもの【期間 2020.10.27~2021.3月中旬】

#### (4)その他

##### ■大阪松竹座様 応援広告協賛について (前回ご案内)

・3月末迄にお申し込みはありませんでしたが、申し込み受付は継続します。ご希望の方はご連絡ください。

##### ■道路空間再編 道頓堀川以北の沿道協議会設立

・道頓堀橋北詰~長堀通区間の沿道協議会は、昨年8月に準備会が発足。4月8日、正式に設立される予定です。

定例会 参加者 一部オンライン (zoom)	【正会員】	三輪・湯川(三菱商事・ユービーエス・リアルティ(株))、加賀(七宝山 大福院 三津寺)、小林(株泉屋商店)、高橋・福崎(株スポーツタカハシ)、藤本(株播重)、藤丸(光明興業(株))
	【賛助会員】	島田(東京建物不動産販売(株))、安田(東京建物(株))、武村(コカ・コーラボトラーズジャパン(株))
	【オブザーバー】	大阪市立大学 都市計画ゼミ・建築ゼミ、磯野・杉山(大日本印刷(株))、阿部(西尾レントオール(株))、門重・栗原・福地(ミナミまち育てネットワーク)
	【事務局】	中塚・絹原・羽田・竹林(株)地域計画建築研究所(アルパック)

次回定例会のお知らせ 2021年4月26日(月) 16:00~ 難波御堂筋ホール【予定】 (議題: 法人化検討ほか 予定)